ORIGINAL DESIGN PRINT

オリジナル デザイン プリント

[プリントコラム]

商品・素材に合った名入れで オリジナリティアップ!!

個性とデザインの幅を広げる、さまざまな印刷方法をご紹介。
豊富なバリエーションから最も商品にピッタリな印刷方法は…?

■インクジェット印刷 ■熱転写 ■昇華転写 ■シルク印刷
■パッド印刷 ■回転シルク印刷 ■箔押し・素押し ■刺繍

グラデーションもきれいに印刷

インクジェット印刷

インクジェットプリンターで直接印刷する方法で、単色デザインはもちろんのこと、写真やグラデーションなどフルカラーのデザインも印刷することができます。製版が不要なので、小ロットの対応も可能です。

オススメ! 1 布物から雑貨品まで様々なアイテムにプリントしたい時に!

オススメ! 2 グラデーションや細かい柄のプリントをしたい時に!

ご注意! 縫製品は直接生地に印刷するため、転写と比べ、下地の影響を受けることがあります。

色の再現は無限! 細かな表現もおてのもの

熱転写

絵柄を印刷したフィルムシートを熱と圧力を加えて商品に転写する方法です。キャンバストートなど布物アイテムのフルカラー印刷としてオススメです。

オススメ! 1 色の再現性が高いフルカラープリントをしたい時に!

オススメ! 2 綿~ポリエステルまで様々な生地に対応!

ご注意! アイテムにシートが圧着した仕上がりとなります。デザインによっては、柄の周りに縁がつくことがあります。

発色よく、インクを染み込ませるから素材を損なわない!

昇華転写

分散染料インクをインクジェットプリンタで転写紙に印刷し、それを商品と貼り合わせて高温で加熱することで、転写紙から商品にインクを染み込ませる方法です。ポリエステル素材の縫製物や陶器などのフルカラー印刷にぴったりです。

オススメ! 1 布物から雑貨品まで様々なアイテムにプリントしたい時に!

オススメ! 2 グラデーションや細かい柄のプリントをしたい時に!

ご注意! ポリエステル素材に反応するインクの為、白のポリエステル生地やポリエステルコーティングしたアイテムのみの対応となります。

1色でも様になる! 版を増やせば、広がる表現

シルク印刷

1色ごとに版をおこし直接インクを刷り込む方法で、広範囲に印刷したい時に適しています。生地や雑貨にも印刷できる最もポピュラーな名入れ方法です。

オススメ! 1 バッグ等の広い面に印刷したい時に!

オススメ! 2 ロゴなど色数の少ないデザインをハッキリとプリントしたい時に!

ご注意! 1色ごとに版が必要です。

※各商品の対応可能印刷方法は商品ページのアイコンをご参照ください。

※各商品の対応可能印刷方法は商品ページのアイコンをご参照ください。

小さな面に、細かな表現も再現できる

パッド印刷

インクを載せたシリコンゴムのパッドをスタンプのように商品に押し付けて印刷する方法です。シリコンパッドに弾力がある為、多少の曲面にも名入れできるのが特徴。名入れ範囲の狭いボールペンなどにオススメの名入れ方法です。

オススメ! 1 ボールペンなど曲面で小さいスペースに印刷したい時に!

オススメ! 2 細かい文字や小さな絵柄をキレイに印刷したい時に!

パッド印刷拡大

ご注意! 生地など凹凸のある素材には向きません。

ボトルなど筒型アイテムに1周ぐるりと印刷可能!

回転シルク印刷

印刷したいアイテムを回転させながら印刷する方法です。円筒状の商品であれば、360度全面に印刷することが可能!

オススメ! 1 ボトル等に広範囲デザインをプリントしたい時に!

オススメ! 2 細かい文字や小さな柄を印刷したい時に!

ご注意! 1周印刷する場合、デザインのつなぎ目に余白スペースを頂く場合がございます。

素材を生かして高級感ある仕上がりに!

箔押し・素押し

箔押しは、熱と圧力で金や銀などの色箔を転写させる印刷方法です。高級感を演出することができます。素押しとは、熱と圧力を加えることで、商品に押し印をする方法です。素材を生かした上品な名入れができる為、レザーや合皮などにオススメです。

オススメ! 1 ギフト等で高級感のある名入れにしたい時に!

オススメ! 2 通常のインクプリントとは違うシックな表現をしたい時に!

素押し

箔押し

ご注意! 細かい文字や複雑な絵柄の表現には向きません。

立体感がありデザインが際立つ!

刺繍

布地やその他素材に針と糸で装飾する方法です。パンチデータという刺繍用の型を作製し、刺繍機に読み込ませることで、データ通りの刺繍をすることが可能です。耐久性もあり、高級感もある刺繍はギフトの名入れとしてオススメです。

オススメ! 1 バッグやタオルなどに高級感のある名入れをしたい時に!

オススメ! 2 通常プリントとは違う立体感ある名入れがしたい時に!

ご注意! 針で縫いつけていく為、刺繍部の裏面は刺し跡が入ります。デザイン(細い線・抜き等)によっては再現が難しい場合がございます。

※各商品の対応可能印刷方法は商品ページのアイコンをご参照ください。

※各商品の対応可能印刷方法は商品ページのアイコンをご参照ください。

印刷方法のご紹介

当カタログの商品に可能な名入れ方法をご紹介いたします。
この他にも、商品によって可能な名入れ方法を複数ご用意しておりますので、
詳しくは営業担当までお問い合わせください。

シルク印刷

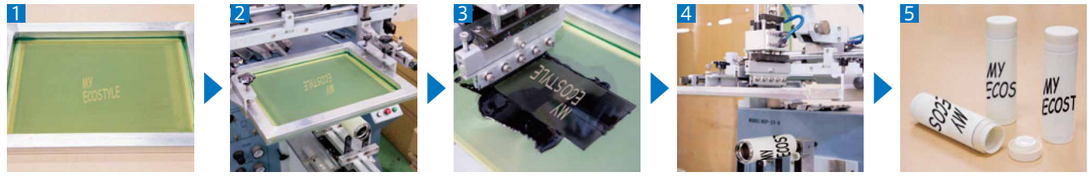
シルクスクリーン印刷（シルク印刷）とは、シルク（絹）の幕を枠に張って印刷する方法です。現在はシルクは使用せずナイロン・テトロンなどの素材が使われています。写真など網の細かい印刷には不向きなので、紙媒体ではあまり使用されませんが、シルク印刷の利点は、布などの平滑でない面や曲面にも印刷できることです。
また、シルク印刷はインクの種類も豊富です。インクが厚く印刷され、下地を完全に覆う事ができるので、耐久性にも優れています。インクが厚いといっても他の印刷方法と比べてなので、気になる程ではありません。シルクスクリーン印刷は幅広い分野で活用されています。皆さんも普段の生活の中で、知らず知らずにシルクスクリーン印刷と接しているはずです。

●平面にシルク印刷する場合

1 シルク印刷版です。この版を用いてインクをこしだすことで、さまざまな商品にデザインを印刷します。
2 印刷台にセットします。下にセットしてあるのはキャンバス地のトートバッグです。
3 版の上にインクを盛っていきます。商品に重ねて、写真のようなヘラで一気に刷ります。
4 実際にインクが刷られた商品です。しかしまだ完成ではありません。
5 先ほど刷りあげたバッグを乾燥機に入れ、インクを乾かします。こうして出来上がった商品が、お客様の手元に届きます。

●曲面には回転シルク機で印刷します

回転シルクは、印刷したいアイテムが回転し、インクがのるような仕組みです。



1 版は通常のシルク印刷と同じものを使用します。印刷部分のみインクが通るようになっています。
2 回転印刷機にアイテムと版をそれぞれ別にセットします。スリムサーモステンレスボトル300mlに印刷します。
3 版にインクをのせ、インクが印刷部分に均等にのびるよう、機械でならしてなじませます。
4 セットしたアイテムを版に対して回転させることにより印刷されます。まだ完成ではありません。
5 大型の乾燥機に入れ、インクを乾かします。きれいに印刷されているか念入りにチェックします。

パッド印刷

パッド印刷とは、版にデザインの溝を掘った凹版を使用し、その版上のインキを、シリコン製のパッドに一度転写し、被印刷物に二次転写を行うオフセット印刷の一種です。パッド印刷の特徴は、細かい図柄を平面から立体まで様々なアイテムに印刷することができることです。シリコンパッドはやわらかく、押し当てるとその形状が被印刷物になじむため、曲面や、凹部の内側にも印刷できます。また、細線の再現にも非常に強く、細かい線もキレイに印刷することができます。インクの乾燥も早いため、多色印刷や、重ねての印刷も可能です。シルクスクリーンと並んで、名入れ印刷では有力な印刷方式の一つになっています。

1 シリコンパッドです。商品の形状や大きさによって多様なシリコンパッドを使い分けます。
2 パッド印刷機です。シリコンパッドにインクを移し、商品にハンコを押す様に印刷します。
3 版です。デザイン部分が凹版になっており、ここにインクをためて、余分なインクを掻き出します。ここにシリコンパッドを押し当て、インクを転移させます。
4 シリコンパットに転移されたインクを商品に転写します。
5 商品を十分に乾燥させれば完成です。

昇華転写

昇華転写印刷とは、分散染料インクをインクジェットプリンタにより転写紙に印刷し、その転写紙をプリントする対象物に貼り合わせ、高い温度で加熱することによりインクを定着させる印刷方法です。陶器やガラス、布など、加熱が可能なさまざまな物に印刷できます。製版が不要なため、小ロットでのフルカラー印刷が可能になります。製版が不要な分、コストが抑えられ、短納期で完成することができるのも特徴です。印刷の仕上がりは、インクドットが溶け合ったきめこまかい表現になります。インクジェットで転写紙に印刷した部分が熱によって転写される際に、インクが気化（昇華）するので、昇華転写印刷の名称があります。

1 印刷したいイラストや写真のデータを専用インクで転写紙にプリントします。製版は必要ありません。
2 転写紙に出力したイラストや写真と、もとのデータの色合いをチェックします。
3 転写紙を印刷するカップのサイズに合わせてカットします。
4 カップの印刷面を丁寧に拭き、ホコリなどを取り除きます。
5 カップと転写紙をずれないよう注意深く貼りあわせます。

6 300度に熱した昇華転写機にカップをセットし、しっかりと固定します。
7 数分後、昇華転写機から取り出した、まだ熱いカップから転写紙を慎重にはずします。
8 オリジナルカップの完成です。

●大量生産のときは…

一度に大量のカップを印刷する場合は、大きな窯を使って昇華転写印刷することができます。
小ロットでも大量でも、ひとつひとつ丁寧に制作されています。

その他の印刷方法

箔押し

箔押しとは、熱と圧力で金や銀などの色箔を転写させる印刷方法です。高級感を演出するのにオススメの名入れ方法です。

素押し

素押しとは、商品に直接押し印をする印刷方法です。型押しとも呼ばれます。素材の質感を生かしながら、上品な名入れをするのにオススメです。

※商品によっては上記の印刷が不可能な場合もございます。※印刷の再現性はデザインや名入れ位置によって異なります。※詳しくは営業担当までお問い合わせ下さい。

データ入稿についての注意事項

名入れ印刷色

・インクジェットや熱転写印刷などが可能な商品を除き、名入れは基本的に1色を推奨します。
・刷色は下記の名入れ基本色の中からお選びいただくか、もしくはDIC・PANTONEのチップ番号でご指定ください。
　なお、印刷色は下地の影響等で、ご希望通りの色に仕上がらない場合がございます。
・シルク印刷等で多色刷りをご希望される場合は、1色追加するごとに増色代が別途必要となります。

名入れ基本色

黒 K100	白		
赤 Y100 M100	青 M50 C100	緑 Y100 C100	

※基本色以外をご希望の場合は、DIC・PANTONEのチップ番号でご指定ください。

データ形式

・Windows・Mac共に、Adobe Illustrator(CS5以下)で作成したAIまたはEPSデータでお願いします。
　※Illustratorで作成の際は、必ず文字をアウトライン化してください。
・1色の印刷の場合は、刷り色に関わらずデータは黒(K100%)で作成してください。

トンボ

・1色の印刷の場合は、トンボは黒(K100%)で作成してください。
・フルカラー印刷の場合は、トンボはレジストレーション(CMYK100%) で作成してください。

写真画像　※インクジェット、熱転写、昇華転写、シール印刷、カスタム台紙のみ

・インクジェット、熱転写、昇華転写、シール印刷、カスタム台紙は、写真を含んだフルカラー印刷が可能です。その場合は、Illustratorファイルのみではなく、必ずリンクするPhotoshopの画像ファイルも添付してください。
・画像ファイルは印刷実寸で解像度は350dpi以上が推奨です。

メール入稿

・メールで添付される際は、データを圧縮してお送りください。
・トラブルを防ぐため、必ずデザインの出力サンプルをFAXでお送りください。
・データ容量が5メガ以上の場合は、通信トラブルを起こす可能性がありますので、DVD、CD-ROMなどのメディアにてお送り頂けますよう、お願いします。

メディア(DVD・CD・MO等)の入稿

・入稿の際はデザインの出力紙を同封してください。
・ラベル等に作成データのアプリケーション(バージョン)を明記してください。

商品注文書

ご注文日:　　年　　月　　日

貴社名			
品番	CO-	数量	
品名		名入れ	有　・　無
お届け先	〒 TEL　　FAX		
荷主	〒 TEL　　FAX		
ご希望納品日	年　　月　　日		

●名入有ご希望の場合

支給原稿	完全データ　・　データ作成
刷色	黒　・　白　・　赤　・　青　・　緑　・　フルカラー その他(　　)
備考	

※名入れデータをご入稿の場合は、P.86の「データ入稿についての注意事項」をご確認ください。
※データ作成をご依頼いただく場合は、別途データ作成代￥3,000を頂戴いたします。

取扱店